

学校運営協議会 議事録

校名	府立羽曳野支援学校
校長名	校長 東野 裕治

開催日時	令和8年7月2日(木) 14:00 ～ 15:20
開催場所	大阪府立羽曳野支援学校 図書室
委員	大堀委員 亀田委員 中條委員 平賀委員 前田委員 松下委員(欠席)
学校	東野(校長) 丸田(教頭) 水流(教頭) 大林(首席) 松山(首席) 和田(首席) 橋本(指導教諭)
傍聴者	なし
協議資料	・ 学校運営協議会次第 ・ 学校運営協議会実施要綱 ・ 委員・事務局名簿 ・ 令和8年度 学校経営計画 ・ 令和9年度 教科用図書選定理由書

議題等(次第順)
1 校長挨拶 2 学校運営協議会委員及び事務局員の紹介 3 令和8年度羽曳野支援学校運営協議会会長・副会長の選出 4 校内(授業・施設)見学 5 協議 ● 令和8年度「学校経営計画」を踏まえた学校運営の充実 ● 意見交換 6 連絡報告 ● 令和8年度使用 教科用図書の選定について
協議内容・承認事項等(意見の概要)
◆ 校内(授業・施設)見学(首席) 大阪母子医療センター分教室及び阪南病院分教室における教育活動について、動画を用いて紹介した。 大阪母子医療センター分教室では、学習交流会における児童生徒の発表や、病状や体調に応じて録画・録音等を活用しながら、一人ひとりが学習活動に参加できるよう工夫している取組について説明した。 阪南病院分教室では、販売学習「阪南マルシェ」の取組を紹介し、栽培活動や制作活動を販売活動につなげることで、児童生徒の主体性や社会性を育む教育活動について説明した。

(委員より)

- ・ 病状や体調に応じて教育活動へ参加できるよう工夫されており、児童生徒一人ひとりを大切にしていた教育実践であることがよく伝わった。
- ・ 販売学習や学習交流会など、体験的な学習を通して主体性や自己肯定感を育む取組は大変意義があると感じた。
- ・ 教職員の丁寧な支援や教育活動の工夫が十分に伝わり、児童生徒が生き生きと活動する様子が印象的であった。
- ・ 地域校への支援やセンター的機能についても高く評価しており、今後も継続・充実を期待したい。
- ・ 学校全体として、児童生徒一人ひとりを大切にしていた教育活動が推進されていることが伝わった。

◆ **令和8年度学校経営計画について(校長)**

令和8年度学校経営計画に基づき、今年度の重点と取組について説明した。

今年度は、「児童生徒一人ひとりの可能性を最大限に引き出し、安全・安心に学ぶことのできる学校づくり」を基本方針とし、教育活動の充実と学校組織の活性化を図ることを、以下のとおり説明した。

- 児童生徒の実態に応じた ICT の効果的な活用に向け、複数の学習クラウドサービスを比較・検証し、授業での活用を進めること。
- プログラミング教育について、教材の試作や授業実践を進め、障がいの状態や発達段階に応じた学習活動の充実を図ること。
- 外国にルーツのある児童生徒や保護者への支援について、多言語での情報提供や関係機関との連携を進め、安心して学校生活を送ることができる教育環境の整備に取り組むこと。
- センター的機能の充実を図り、入院児童生徒の復学支援や地域校への助言、不登校支援など、本校の専門性を地域へ還元していくこと。
- 複数の分教室が離れた場所に設置されている本校の特性を踏まえ、オンライン等を活用しながら分教室間の連携を進め、学校全体として一体感のある教育活動を推進すること。
- 教職員研修や人権教育の充実を図り、多様な教育的ニーズに対応できる学校づくりを進めること。

以上の取組について説明し、学校経営計画の達成に向け、教職員が共通理解のもと教育活動を推進していくことを確認した。

(委員より)

- ・ 学校経営計画に掲げた取組について、年度当初から着実に進められていることがよく分かった。
- ・ 外国にルーツのある児童生徒への対応については、児童生徒だけでなく保護者への支援も重要であり、今後さらに充実を図っていただきたい。
- ・ センター的機能については、地域校にとって大変心強い取組であり、今後も専門性を生かした支援を継続してほしい。
- ・ 地域校への復学支援については、羽曳野支援学校で行われているきめ細かな支援や配慮が、原籍校へ十分に引き継がれる仕組みづくりを期待したい。
- ・ 不登校支援については、地域校との協働をさらに進め、本校の専門性を地域へ広げていただきたい。

- ・ 体験的な学習や ICT を活用した教育活動を通して、児童生徒一人ひとりの主体性や社会性を育む取組を今後も継続していただきたい。

(学校より)

外国にルーツのある児童生徒への支援については、保護者支援も含め、関係機関との連携を図りながら取り組んでいく。また、センター的機能については、地域校や病院との連携を一層深め、復学支援や不登校支援など、本校の専門性を生かした支援の充実に努める。

◆ **令和9年度使用教科用図書について(教頭)**

令和9年度使用教科用図書の選定理由について説明した。

本校は羽曳野市に所在しているが、阪南病院分教室、近畿大学病院分教室、大阪労災病院分教室及び堺咲花病院分教室のうち4分教室が堺市内に設置されていることから、大阪府教育委員会と確認の上、堺市採択の教科用図書を使用していることを報告した。教科用図書については、小学部・中学部それぞれに調査委員会を設置し、「令和9年度使用府立学校教科用図書採択要領」に基づき、見本本を比較・検討した上で選定を進めていることを説明した。

⇒ 委員より特段の意見はなく、内容を確認した。

次回の会議日程

日時	令和8年 11 月～12 月上旬　〔第3回は、令和9年2月 18 日(木)10:00～12:00〕
会場	大阪府立羽曳野支援学校 図書室